

## 12月定例記者会見の概要

1 日時 令和5年11月29日(水)10時00分～11時00分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ③ 朝日新聞社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑥ 福島民報社 南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑦ NHK 南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

計 7 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長
- ・鹿島区役所長・市民生活部長・健康福祉部長・こども未来部長
- ・商工観光部長・商工観光部企業立地担当理事
- ・農林水産部長・農林水産部整備担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

はじめに、行政区加入促進月間についてです。

11月の行政区加入促進月間に合わせて、南相馬市区長連絡協議会と市は、行政区加入促進街頭キャンペーンを行い、11月16日には、3行政区と1地区の区長が地域の課題や独自の事業を発表する行政区地域活動事例発表会をサンライフ南相馬で開催しました。

実際に行政区への加入につながったケースもありましたので、今後に向けて共有を図ってまいります。

次に、協定の締結についてです。

市では11月10日、明治安田生命保険相互会社と、さらなる市民の健康増進や市民サービスの向上に関する連携協定を締結しました。

続く11月13日は、株式会社マイファームと、農業人材の育成や確保、地域農業者との連携などに関する協定を締結しました。

協定による協働の取り組みを通じて、市民の健康づくりや農業人材の確保・育成に努めてまいります。

次に、ペンドルトン派遣報告会と多文化共生セミナーについてです。

姉妹都市相互派遣交流事業として、約4年ぶりに本市の高校生6人を、姉妹都市のアメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市へ派遣しました。その報告会が18日に市民情報交流センターで開催され、高校生からは文化の違いや気付き、今後の抱負について報告がありました。

今回の研修を通じて得た様々な気付きを糧として、南相馬を担う人材となつてほしいと願っています。

次に、南相馬市復興支援感謝の集いについてです。

コロナ禍により開催が2年間延期となっておりましたが、11月18日に「南相馬市復興支援感謝の集い」を開催いたしました。これは、市の震災と原発事故からの復旧・復興支援活動を行ってくださった市外の個人や団体の皆様、市の復興事業等に多大な貢献をされた皆様に感謝の思いを伝えるため、計画したものです。

これまでご支援くださった皆様と再会し、ようやく感謝の気持ちをお伝えすることができました。また、翌19日には、市内各地を巡り、復興への歩みをご覧いただくバスツアーを開催いたしました。

お越しいただいた皆様からは「ずっと応援しています」「これからもお手伝いさせていただきます」「復興でつながったご縁は恩返しの手紙へ」「必ずまた野馬追を見に来ます」とのありがたいお声を頂きました。

次に、日本学校合奏コンクール全国大会での入賞についてです。

11月18日、19日の両日、日本合奏コンクール2023全国大会グランドコンテストが開催され、小学校の部で石神第二小学校が全国2位相当の金賞・千葉県教育長賞に輝いたとの知らせが届きました。

石神第二小学校の皆さん、おめでとうございます。

次に、国際バカロレア研究会の設置についてです。

11月22日、市は世界標準の教育カリキュラムである国際バカロレアの導入に向けた研究会を立ち上げました。

国際バカロレアとは、グローバル化に対応した素養や能力を育成する教育プログラムで、これまで150以上の国や地域で取り入れられています。

現代は将来の予測が困難な時代であることに加え、グローバル化も急速に進展しています。

本市では、子どもたちがこうした未来社会を生きぬく力として、幅広い知識や課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、国際的な視野を持って考え、行動する力の育成が重要と考えており、それらの力を育成するために国際バカロレア教育は有効な手段の一つと捉えております。

研究会では今後、現状把握や事例調査、先進地視察を踏まえて、令和6年3月までに市内での導入の可能性について調査を行う予定です。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、こども未来ミーティングU18についてです。

市では12月9日、小学4年生から18歳までの皆さんに、子どもの権利について知っていただき、意見を聴くため「こども未来ミーティングU18」を開催します。児童や生徒の皆さんに、南相馬市が「過ごしやすい」と思ってもらえる市にするため、今年初めて開催するものです。

当日は小学4年生から18歳までの30人が参加する予定です。市からは、わたしと副市長、教育長、こども政策に関わる市の職員が参加します。

子ども達から直接、意見を頂く貴重な機会ですので、活発なやり取りができることを期待しています。

次に、中学生海外研修についてです。

本年8月に市内の中学2年生15人がオーストラリアで海外研修を行いました。今回はシンガポールで市内の中学2年生18人が、12月23日から27日まで研修を行う予定です。

研修を通じて海外の文化に触れ、広い視野を持った、未来を担う人材となってくれることを願っています。

次に、市議会定例会についてです。

12月6日から開会となる第5回南相馬市議会定例会に提出する案件は議案30件、報告1件の計31件を予定しています。

主な案件としては、南相馬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定や、補正予算などとなります。補正予算としては、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に伴う低所得世帯に対する支援に係る予算、そして、南相馬市第三次総合計画「7つの政策の柱」に基づく対応、令和4年福島県沖地震及び令和5年台風第13号に伴う災害復旧など、緊急に対応すべき予算を提出しています。

詳細はのちほど総務部長より説明いたします。

### 【質疑応答】

質問1:

第5回定例会（12月補正）の小高スマートインターチェンジ（IC）整備事業について、進捗状況を教えてください。

回答1：建設部長

現在、用地測量と補償等を進めている段階です。これらが完了した後に工事に着手するため、終期は明示できない状態です。

質問2:

第5回定例会の議案第97号について、小高老人福祉センターの廃止理由を教えてください。

**回答 2：市長**

施設の老朽化と利用状況を鑑みて施設の用途を廃止するものです。南相馬市公共施設等総合管理計画と南相馬市公共施設再編個別計画に基づき、利用状況や施設の老朽化を踏まえながら、複数の施設がある場合は統廃合を進める方針です。

**回答 2：小高区役所長**

南相馬市公共施設再編個別計画では、小高老人福祉センターは廃止となっています。現在、同センターの利用客は、小高区に整備した復興拠点施設や隣接する浮舟文化会館を利用するため、センターの利用が減っている状況でした。そのような状況も踏まえて施設の維持管理を検討した結果、同センターの用途を廃止するものです。

**質問 3：**

浪江町や富岡町で、帰還困難区域内の避難指示解除が進んでいます。南相馬市内の帰還困難区域について、解除に向けた動きは現在どのような状況となっていますか。帰還困難区域に指定された住民の方は、早めの解除を希望していると聞いています。

**回答 3：市長**

公式な動きはございません。台風第13号で住民の方へのお宅に行くまでの道路に被害が出たことから、修繕工事等を急いでいる状況です。

私も早めの解除を希望されていると伺っておりますので、できる限り早く実現するように進めたいと思っており、改修と並行して、国との協議に必要な条件整理を行っているところです。

**質問 3：**

第5回定例会の議案第111号で取得する財産（トラクターなど21台）は、どのように活用されますか。

**回答 3：農林水産部長**

市が取得して、市内の農業法人に無償貸与します。ほ場整備などが進み、面積の拡大が見込まれることから、そのための機械などを取得するものです。

以上